

連載 地域新電力③

かけがわ版シュタットベルケ の実現に向けて

今回は、掛川市とかけがわ報徳パワー(株)が協力して目指す地域課題解決に向けた「かけがわ版シュタットベルケ」について解説します。

(問) 環境政策課(☎21-1218)

公民の一体的な取り組みで 脱炭素と地域発展を両立

「シュタットベルケ」とは、ドイツでエネルギーや水道、交通などの公共インフラを整備・運営する自治体所有の公益企業のことです。地産の電力や熱エネルギーの供給で得た利益を、時のニーズに沿ったサービス(コミュニティビジネス)として地域へ還元します。

掛川市ではこれをモデルとして、官と民がそれぞれ担ってきた公共インフラなどの事業を、かけがわ報徳パワーが核となつて一体的な取り組みを展開し、その利益を地域課題の解決に充てることで、脱炭素と地域の発展の両立を目指します。

便利で魅力あるまちを次世代へ

これまでのインフラ事業は、電力やガスを民間企業、上下水道や道路などを行政が担い、それぞれが単独

で効率化を図ってきました。かけがわ版シュタットベルケはこの方式を一新し、民間と行政が一体的に取り組み、各分野間の一元化や情報共有、資源などの相乗効果で組織全体の生産性向上を期待するものです。

また、利益は出資者に分配せず、市内の産業や地域特性に合わせたコミュニティビジネスの創造に充てられます。地域が抱える課題を解決へ導くと同時に、地域内でお金が循環すること、持続可能なまちづくりに寄与するものと考えます。

一体的なインフラ管理とコミュニティビジネスを展開することで、環境へ配慮しながら経済と雇用を守り、便利で魅力あるまちを次の世代へ継承していくことを目指します。これにより、地域が活性化するとともに、報徳の精神を受け継ぐ「かけがわ」の価値をさらに高めていくことが見込まれます。

未来は子どもたちのもの、 今を生きる私たちにできること



かけがわ報徳パワー(株)
取締役 星之内 進

エネルギーは私たちの生活になくてはならない大切なものですが、一方で環境に負担をかけています。未来は子どもたちのものです。かけがわ報徳パワーはクリーンな環境を子どもたちにつないでいくために、地域に再生可能エネルギーを優先して供給していきます。市民のみなさんの応援をお願いします。

これまでの連載地域新電力の記事はこちらから確認できます。



市ホームページ

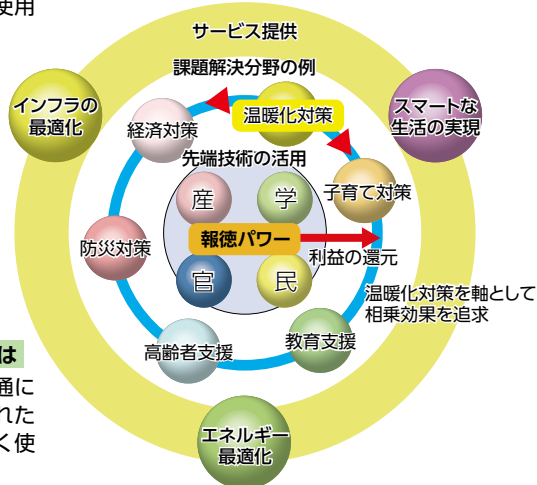
かけがわ版シュタットベルケのイメージ

インフラの最適化とは

地域の实情に合った形で、持続性や財政効率の在り方を考慮し、インフラが整理・維持・管理・更新され、将来にわたり使用できること

スマートな生活とは

環境に配慮しつつ、仕事や交通、医療福祉など、あらゆる分野の機能とサービスが連携し、利用者にとって快適なサービスが提供されること



エネルギー最適化とは

エネルギーの相互融通により、地域でつくられたエネルギーを無駄なく使用できること

産学官民が報徳パワーを核として連携し、先端技術を活用しながら各種インフラ事業に一体的に取り組みます。そうして得た利益を温暖化対策を軸に、さまざまな地域課題の解決に利用し、それらに相乗効果をもたせることで大きな3つの目標の達成に波及させていきます。